

Smile Café一周年と新年度のご挨拶。

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第141号

発行2020.4.19

年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

☎042-578-0855

fax.042-578-0466

そよかぜだより



福祉作業所スマイル工房【地域交流スペース】 Smile Café

開店から一年が経ち

Smile Caféは地域の方々との交流を大切にした「憩いの場」として利用者と地域の皆さまとが出会い、

交流を通してお互いに理解が深められる場でありたいという願いを込めて

平成31年4月1日に羽村大橋近くの多摩川沿いにオープンいたしました。

たくさんの方々の笑顔に支えられてSmile Caféは一周年を迎えることができました。

これも一重に皆さまのご支援ご指導の賜であり心より感謝申し上げます。

これからも皆さまにとって居心地が良く、素敵な時間を過ごせるスペースとして

末長く愛されますように、サービス向上に努めて参ります。

今後とも変わらぬお引き立てを賜りますようお願いをし、一周年のお礼とご挨拶とさせていただきます。

【地域交流スペース】

Smile Caféについて

Smile Caféは、当法人の基本方針である**全ての利用者と職員がいきいきとやりがいをもって働ける職場づくりに努めます**の考えをベースに運営を行っています。カフェでの仕事に不安を持つ利用者の方々もいましたが、今ではとても積極的に、自分から次の仕事を探し、行動できるように成長してとてもいい表情をされているように思います。サポートが必要な時もありますが自分の行動が自信に繋がればと考えています。カフェをご利用されるお客様は、度々足を運んで下さる方々がとても多く、心から深く感謝しております。お客様がリラックスして過ごせる居心地の良い場所を提供できるように取り組んで参ります。



天然酵母パンについて

天然酵母を使用して、ゆっくりと時間をかけて発酵することにより、熟成の旨味が引き出され、もっちりしっとり味わい深いパンに仕上がります。

メニュー (税込価格)

天然酵母パン	130円～	ドリップコーヒー(ホット・アイス)	300円
クッキー	100円～	カフェオレ(ホット・アイス)	350円
スコーン	150円～	ミルク(ホット・アイス)	200円
マドレーヌ	150円～	ノンカフェイン ルイボスティ(ホット・アイス)	300円～
パイ	150円～	ジュース	200円～
ワッフル	150円～		

カウンター後方が厨房になっているのでパンが焼きあがり次第、店頭と並べています。厨房スタッフとカフェスタッフが連携を取り合い、お客様にパンの焼き上がり状況をお伝えしています。美味しいパンをお客様に提供するために厨房担当スタッフを中心に、カフェスタッフと商品開発を繰り返し行なってきました。移転前から天然酵母パンの製造をしてきましたが、もっとたくさんの方々においしいパンを食べてほしいという思いから、製造工程の変更を少しずつ繰り返し、質の向上に努めて参りました。

利用者の方々がカフェスタッフとして、厨房スタッフとして仕事に向き合う姿の成長を間近に感じています。しかし、まだ不慣れなこともあるかと思えます。また、緊張してしまったり、お客様からのご質問の理解に時間が必要な時もあると思えますが見守っていただければ幸いです。

これからも地域の方々との繋がりを大切に、そして誰もが笑顔になれるお店作りを目指し未永く愛されますよう努めて参ります。

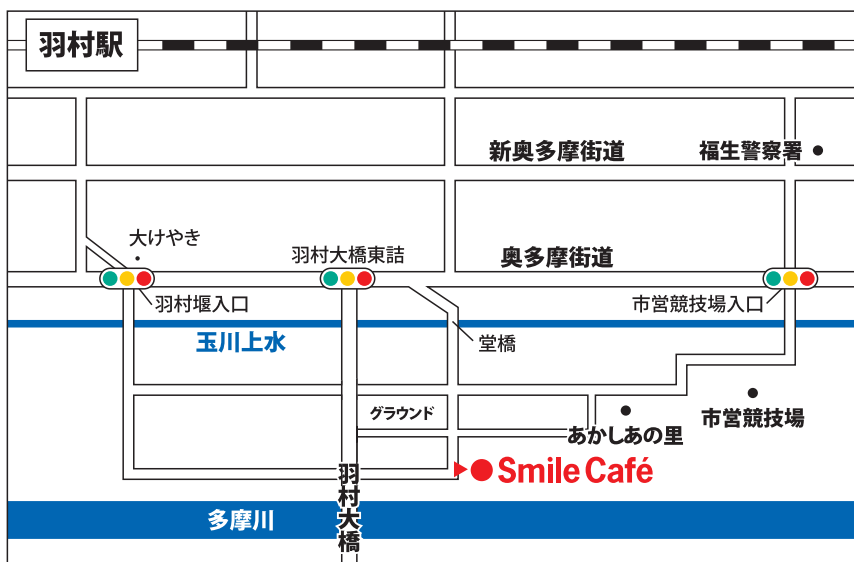
※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の情勢を考慮し、当面の間スマイルカフェでは営業時間の短縮や、臨時休業日を設けさせて頂いております。詳しくは、直接お問い合わせください。

福祉作業所スマイル工房 【地域交流スペース】 Smile Café

営業時間

火・木・金 曜日
10:30～14:30

東京都羽村市玉川2-10-1
☎042-578-2723
←フェイスブックページQRコード
<https://www.facebook.com/smile.cafe.hamula/>



社会福祉法人そよかぜ

令和2年度 事業計画概要

社 会福祉法人そよかぜは、多様化、複雑化する地域の障害者福祉ニーズや課題に対して、本年度も法人が定める経営理念や定款をはじめとする諸規程に則り、自らが運営する各事業の特性を十分に活かし、サービスを必要とする皆様の期待に応えられるよう、羽村市当局をはじめ関係諸機関との連携を密に図りながら、着実な事業運営に努めます。とりわけ平成30年10月に開所した新スマイル工場の施設運営の充実と安定化を図ること、また、羽村市障害者就労支援センターエールや指定特定相談支援事業所ゆいの円滑な事業運営、福祉作業所ひばり園本園及びくれよん施設・設備の老朽化対策、新旧交代に伴う人材の確保育成などを中心に、各事業それぞれの課題や目標にしっかりと取り組んでまいります。

社会福祉事業

法人本部

法人経営をより着実に推進していくために、法人事務全般を組織的に見直し、必要な改革や整備を実施します。また、資源回収や作業所活動など、安定した法人事業運営にはボランティアの力が不可欠であることから、組織的なボランティア活用を推進します。

福祉作業所ひばり園(就労移行支援=定員6名)

利用者個々の希望や適性に応じた職場への就職活動を支援するとともに、安定した事業継続と一般就労へのニーズに応えるため、新たな利用者の受け入れのためのPR活動を行います。また、各自の適性判断や就労意欲の向上など、就職に向けて大きな成果を得られる企業実習の拡充を図ります。

福祉作業所ひばり園(就労継続支援B型=定員70名)

事業収入アップと経費削減を目指します。利用者工賃増のため、作業効率向上や受注量の増加を図るとともに、利用者支援の質を落とすことなく事業収益を上げるため、業務の分担や効率改善に取り組みます。

福祉作業所ひばり園(就労定着支援)

利用者がそれぞれの職場で、持っている力を最大限に発揮し、安心して長く勤めることができるよう障害者就労に伴う様々な課題に対応した支援を行います。

福祉作業所スマイル工房(就労継続支援B型=定員40名)

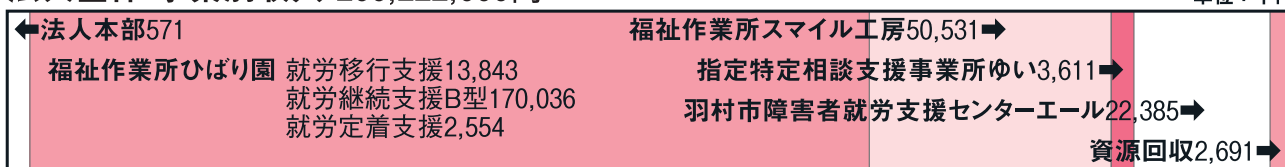
地域の障害者が快適に仕事のできる場と環境を提供することで、生活の張り合いや将来への希望が持てるようにするとともに、利用者を支援する職員も安心とやりがいを持って働ける職場環境を目指します。

指定特定相談支援事業所ゆい(利用契約者数97名)

令和2年度 社会福祉法人そよかぜ当初予算額

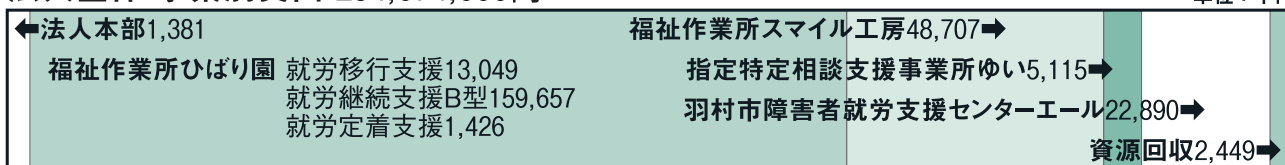
法人全体 事業別収入 266,222,000円

単位：千円



法人全体 事業別支出 254,674,000円

単位：千円



※決算報告書の詳細は法人ホームページに掲載いたします。金額は内部取引調整後の値。千円単位の表示のため、合計との差額が発生します。

就労を含めた生活全般の相談支援の在り方を探求するとともに、関係機関との連携・協働を積極的に推進し、利用者一人ひとりに適した支援ネットワークの構築を図ります。

公益事業

羽村市障害者就労支援センター エール

地域の障害者の一般就労の機会を広げるとともに、安定した就業生活が送れるように、関係機関と連携し

ながら就労面及び生活面の支援を行います。本年度は新たな職員体制でのスタートとなりますが、今まで同様着実な事業運営に努めます。

収益事業

資源回収

資源回収では、車両を使用することから交通安全の意識を高め、利用者をはじめ、ボランティア等の協力者も安全で安心した活動ができるよう支援します。

各事業所長より新年度のご挨拶



福祉作業所ひばり園

所長 根岸 徹

福祉作業所ひばり園

東京都羽村市栄町3-3-1
☎042-555-5512

リサイクルショップくれよん

東京都羽村市富士見平2-2-14
☎042-578-2575

昨年度は新元号となった令和元年を迎えた年となりましたが、協力企業様や各関係機関の方々のご協力により、例年通り安定した事業運営を行うことができました。

作業面では終盤になって新型コロナウイルスによる影響があり、請け負っている作業の一部で受注量の減少がみられましたが、概ね前年と同様、順調に仕事の受け入れを行うことができました。また、リサイクルショップくれよんでは市民の皆様からたくさんの提供品があり、お陰様で売り上げも順調に推移することができました。就労移行支援からは2名が就職しました。昨年度利用開始した利用者も順調に訓練を行い、これから就職活動が本格化していきます。

就労継続支援B型では、利用者個々の障害特性や事情に配慮しつつ、ひばり園に来てもらうことで必要な支援の機会を逃さないこと、生活リズムを乱さないこと、工賃支給額のアップに取り組んでいきます。厳しい



社会情勢ではありますが、これまで通り協力企業様にはご協力いただきながら、職員の創意工夫で取り組んでいきます。

リサイクルショップくれよんでは、もっとお店のことを知ってもらえるよう広報活動に力を入れ、お得な情報などを積極的に発信していきます。

就労移行支援では、事業の活動内容や実績をたくさんの方に知ってもらい、就職を希望する方を一人でも多く支援したいと思い、近隣の関係機関や学校等に足を運んでいます。また、就職に向けて適性の判断や就労意欲の向上など大きな成果を得られる企業実習



を行うため、受け入れ企業の幅を広げていきたいと考えています。

就労定着支援では、現在7名が登録されています。毎月必ず面談を行い、職場での様子や生活面での

変化等を確認しています。社員の一人として会社に貢献し、誇りをもって働くことができるようになってもらいたいと思い、様々な相談に応じています。

ひばり園で働く利用者、職員ともに日々の作業や業務に忙しく対応しています。そんな中でも様々な課題に対してみんなが前向きに話し合い、お互いに労をねぎらいながらそれぞれに与えられた役割をしっかりとこなしています。みんなが誇れるひばり園のために尽力してまいりますので、本年度も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



福祉作業所スマイル工房

所長 河村 茂

福祉作業所スマイル工房

東京都羽村市玉川2-10-1

☎042-578-2723

平成30年10月に新施設を開設。平成31年4月に地域交流スペースに**スマイルカフェ**をオープンさせるなど、福祉作業所スマイル工房は一步ずつ事業拡大を進めてまいりました。昨年度は新規事業の開始や利用者の急増、職員の入れ替わり等で環境変化が激しく、全体としてはバタバタして落ち着いた令和の幕開けとなりました。

令和2年度は3つの年度目標を掲げました。一つ目は今年度中に利用定員である40名まで利用者を増やすことです。地域の精神障害者のニーズに応えるべく定員拡大しましたが、おかげさまでこれまで羽村市内外から多くのお問い合わせをいただき、施設見学や利用体験を受け入れてきました。今後もこうした施設を必要としている多くの方々を可能な限り受け入れ、質の高い支援サービスが提供できるよう心がけてまいります。

2つ目は作業活動の充実です。パン製造は長年続けてきた今までの製造方法を見直し、試行錯誤しながら種類も少しずつ変えてきました。利用者には作業工程



のどの範囲まで携わっていただくか新たな課題も出てきていますが、今年度は、質や内容・風味が今までと違ったパンがご提供できるのではないかと思います。一方、クッキーをはじめとする菓子類も昨年度から進めている新商品の開発を継続し、お客様の興味を引き喜ばれる商品づくりをしていきたいと思ひます。軽作業等の授産活動は、安定した受注が確保できるように常に企業様と連絡を取り合うとともに、利用者の力や強みを引き出すことで生産性の向上を図りたいと思ひます。スマイルカフェは1年間の経験を生かして、来店客の動向や季節感・売れ筋傾向を踏まえた商品メニューの提供ほか、ゆったりとくつろげる店内環境作

り、集客力アップにつながる宣伝に工夫を加え、営業日の増加も視野に入れて多くのお客様に足を運んでいただけるようにします。

3つ目は職場環境の改善です。法人が掲げる基本方針すべての利用者と職員がやりがいをもって生き生きと働ける職場環境作りを実現させるため、利用者に対しては、ここで意欲をもって働き続けたいと思えるよう各利用者の強みを生かした丁寧な作業指導を

行うとともに、様々な悩みや生きづらさを感じる思いに寄り添えるような支援を心掛けてまいります。また、利用者が生き生きと働けるためにも、その担い手である支援者自身もやりがいやゆとりある気持ちを持って働けるような職場にしていきたいと思えます。

令和2年度は、前年度にまいた種を育てながら落ち着きを取り戻して事業の安定を目指し、次の発展につながるような1年にしたいと思います。



指定特定相談支援事業所ゆい

管理者 堀内政樹

指定特定相談支援事業所ゆい

東京都羽村市栄町3-3-1

☎042-555-5512

指定特定相談支援事業所ゆいの仕事は、障害のある当事者の方がより豊かで安心した生活を送るため、障害福祉サービスを利用される際に、ご本人の生活状況や特性を考慮して、そのニーズに合ったサービスが提供されるための**サービス等利用計画**を作成すること、さらに継続して必要なサービスが提供されているか、ご本人の満足度はどうかなど様子をうかがう**モニタリング**を行うことが柱となっています。また、どのようなサービスが利用できるのかなどのご提案や当事者の方のニーズと利用できるサービスをつなぐことも大切な仕事の一つです(基本相談)。

平成27年1月1日の開所から5年がたち、ゆいの利用登録者数は令和元年度末時点で97名となりました。

ゆいで行う相談は、利用者の生活面全般にわたる幅広い課題をとらえ、効果的なサービス利用により地域で安心して暮らし続けられることが大きな目的です。

ただ、ゆいだけで対応しきれものばかりではなく、さまざまなサービス提供事業所や、同じ相談支援を行っている他事業所、サービスの支給決定を行う市町村担当部署など、多くの関係機関との連携が必要となります。当事者の方が安心して地域生活を送るた

めには、その方に合ったサービスや事業所に出会っていただくことがとても大切です。どんな内容の支援があつて、どんな雰囲気ですらサービスが行われているかなども、とても重要な決め手となります。関係機関のもつ専門性にもたくさん力を貸して頂いています。

また、制度やサービスは日々変わっていきます。相談員の知識や経験により、提供できる情報やサービスに偏りができないよう、相談員間での情報共有や学習も常に心がけています。

そして何より、当事者の方の希望が出る**タイミング**も重要です。思いがずっとあつて、ようやく伝えることができた、希望はずっと出ていたけれども、実現できる時が来た、などは、逃せないタイミングとなります。ポイントとタイミングを逃さず、効率よく事務を進め、**その気になった、思い立ったその時**をしっかりとらえていきたいと思えます。

今年度、ゆいは就労支援センターと兼務して相談にあたる職員を配置します。

就労を含めた生活全般の組み立てに際し、**安心して働き続けられる生活を作る**をテーマに、一般就労している方にも必要なサービスが必要なタイミングで行き届くよう、相談支援を進めていきます。



昨年度の終わりには、ゆいと福祉作業所ひばり園の防災委員会との合同で、当事者ご家族向け防災

学習会を行いました。昨年10月の台風19号では羽村市全体に避難指示が出たことを受けて、今後大型台風や地震の際に避難所へ行く際のタイミングや準備をどうしたらよいか、改めて確認し共有する貴重な時間となりました。

今年度も、当事者の方や家族の方が知りたいと思うサービスや制度のことなどをテーマとした学習会など、必要に応じて開催していきたいと思います。



羽村市障害者就労支援センター エール センター長 榎戸勇也

羽村市障害者就労支援センター エール

東京都羽村市神明台1-27-4

☎042-570-1233

新年度を迎え春たけなわの今日この頃、社会人として新たなスタートをきられた方々、職場の環境にも慣れてきたころでしょうか。この度はおめでとうございます。

さて4月よりセンター長を務めさせていただくことになりました榎戸勇也です。私自身はエール開所より勤務しておりますので、エール登録者はもちろん、そよかぜの利用者さんとも、顔なじみの方が多くいます。私としては今回大役を仰せつかり、責任の重さを感じています。至らないところもあると思いますが、精一杯頑張りますので、今後ともよろしく願いいたします。

就労支援センターエールとしては、新しい職員体制のもと、今年度も引き続き、安定した運営と事業の継続を図ります。そして地域にお住いの障害のある方の一般就労の機会を広げるとともに、安定した就業生活が送れるよう、関係機関とも連携を取りながら、就労・生活面の支援を行えるよう、職員一同努めてまいります。

また平成29年度より実施しております**羽村市障害者市役所実習**ですが、昨年度は2回開催することができました。こちらは企業就労を希望する市内在住の障害のある方を対象に、羽村市役所で短期の職場

体験を行うものです。これまで作業所や学校で学んできたビジネスマナーやコミュニケーションを実践するなど、就労に必要な準備性を高める機会となることをねらいとしています。今年度も引き続き実施していけるよう、実習時期の見直しや実習内容の拡大も含め、検討、整備していきたいと思ひます。

就労支援センターエールは開所して12年目を迎えました。これまで同様、障害のある方の**働きたい、働きたい**という気持ちに寄り添い、事業主の方に対しては、安心して雇用していただけるよう、応援(=エール)し続けるセンターでありたいと思ひています。引き続きよろしく願いいたします。



人類の発展と感染症

新型コロナウイルスは中国武漢市を発端として騒がれてから瞬く間に世界中へ広がり、得体の知れないものが私たちの生活に忍び寄ってくる恐怖すら感じます。

政府の感染症対策も、これまでに経験のない小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等における一斉臨時休業などをはじめ、生活全般にも大きな影響を及ぼしました。

感染症は、人類の発展と共に存在し、

時には大流行から歴史を変えるほどの影響を及ぼしてきました。人類を脅かしてきた感染症との攻防も医学の発達により抗生物質や予防接種などの研究や公衆衛生の発展も相まって対策が取られてきました。

現在の新型コロナウイルスは、世界中の医療従事者がまさしく最前線に立って闘っており、このことは忘れてはならないことです。

コラム「福祉の時をつかむ」

一方、残念なことに新型コロナウイルスが引き金となった不当な差別も報道されています。

差別的な言動はごく限られた人だろうと思いますが、この重大な局面を乗り越えなければならないのは人類にとって共通の課題だと思います。私たち一人ひとりが冷静に情報を把握し、元の生活に少しでも早く戻れることを祈るばかりです。

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

作業が落ち着いた為、少人数のグループにわかれ、車で根がらみ水田の桜とチューリップ畑の散策に行ってきました。桜が舞い散る中、色とりどりの綺麗なチューリップを眺め、どの色が好きか話し、ウォーキングを行いました。赤やピンク、オレンジと目の前で咲いているきれいな花の色を言う方もいれば、自分でこんな色の花を咲かせたいなどの希望を話す方もいました。自粛要請により職場と自宅の往復だけになっている中、少人数ながらも季節の花を見ることは気分転換にもなり、充実したひと時が過ごせました。

リサイクルショップくれよん

日頃よりご利用いただき誠にありがとうございます。緊急事態宣言を受けて、**5月10日まで臨時休業**させて頂くことになりました。ご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い致します。



休業中でも**洗える手づくりマスク**(300円)は販売しております。お求めの場合は恐れ入りますが、くれよんまでご連絡ください。☎042-578-2575

福祉作業所スマイル工房

木曜日の喫茶営業日には、いつもと一味違う種類のパンを販売しています。メンバーと一緒に商品考案について話し合っ

たり、試食をするなどいろいろ試したりしています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の情勢を考慮し、当面の間スマイルカフェでは営業時間の短縮や、臨時休業日を設けさせて頂いております。詳しくは、直接お問い合わせください。

障害者就労支援センター エール

就労支援センターエールでは、各月の第一土曜日を開所しています(5月と1月は第2土曜日)。ご相談には予約をお願いいたします。

※法人からのお願い

新型コロナウイルス感染予防のため、当面の間事業所入館の前に手指の消毒と、マスクの着用をお願いさせていただきます。また、発熱等の風邪の症状(37.5℃以上の熱やせき等)があるときの来所はご遠慮ください。皆様の安全確保と感染拡大の防止のため、ご理解のほどよろしくお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

新年度になり、今までとは違う日常が訪れました。そよかぜの事業所でも利用者職員全員がマスク着用、手指消毒、作業室や車内などは換気をしながら仕事に励んでいます。利用者からは休日のお出かけはしないようにしているとの声も聞きます。いち早く今までの日常に戻るよう、今できること、今しないことに線を引き、日常を気持ちよく過ごせるように努めていきたいと思えます。そんな中でも引き続きそよかぜだよりをご愛読くださいますと幸いです。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局	☎042-578-0855
福祉作業所ひばり園	☎042-555-5512
福祉作業所スマイル工房	☎042-578-2723
リサイクルショップくれよん	☎042-578-2575
羽村市障害者就労支援センター エール	☎042-570-1233
指定特定相談支援事業所ゆい	☎042-555-5512